

今年度の教員研修の実施報告

向 井 均

当館では、教育普及活動の一環として、毎年幼・小・中・高等学校の先生方を対象とした教員研修を数多く実施しています。内容は、岩畳の地質観察や昆虫類、植物の観察など、フィールドワークを中心とした研修です。今年度も、下表のように7講座（延べ12回）開催し、合計で310名の先生方に参加していただきました。以下に、今年度の教員研修の様子を報告いたします。

研 修 名	参加者数
授業に役立つ自然史体験講座	54名
みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修（6回実施）	158名
中学校（理科）初任者研修	51名
埼玉県幼稚園新規採用教員研修	15名
中学校（理科）5年経験者研修	23名
20年経験者社会体験研修	2名
高校5年経験者社会貢献体験研修	6名

表1 実施研修名と参加者数

今年度は、埼玉の地質や生物、河川環境などの多様な埼玉の自然や歴史について理解するための「みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修」を、新たに6回開催しました。この研修は、新規採用のすべての教員を対象に実施しました。理科が専門ではない先生方にとっては、普段経験することのない研修内容に新鮮味を感じたようで、たいへん積極的に、はつらつと取り組んでいました。



断層の観察（みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修）

また、毎年実施している理科教員を対象とした研修では、前年度のアンケート調査の結果を参考

に、教員の要望・要求が少しでも生かせるよう、内容の改善を図るなどして開催しました。



四十八沼の水生物調査（中学校理科5年経験者研修）

「授業に役立つ自然史体験講座」は、当館の利用促進と教員の授業力向上を図ることを目的とした研修です。今年度は、東京都や群馬県からの申込みもあり、過去最高の参加者となりました。自然観察の技法の紹介やスキルアップのための指導案の提供など、先生方からたいへん好評でした。



オオムラサキの観察（授業に役立つ自然史体験講座）

研修に参加いただいた先生方からは、以下のような感想をいただきました。

- 水辺再生100プランの意義を身をもって実感した。この経験を学校現場で生かしていきたい。
- 子どもたちと同じ目線に立って、五感で感じることの大切さを、この研修を通して痛感した。
- 「授業に役立つ」というタイトル通り、導入や指導案の提示など、今後に生かせる研修だった。これからも、当館では先生方の要望や時代のニーズに応えた、多様な研修を開催していきます。（むかい ひとし・担当部長）